

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社

**キヤノンが日本システムウエア、日本ヒューレット・パッカーードと協業開始
イメージング技術とIoTでスマート工場の実現を促進**

キヤノン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役会長 CEO：御手洗 富士夫、以下「キヤノン」）は、日本システムウエア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員社長：多田 尚二、以下「NSW」）並びに日本ヒューレット・パッカーード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長執行役員：吉田 仁志、以下「日本ヒューレット・パッカーード」）とスマート工場の分野で協業を2019年1月16日より開始します。

生産革新を行うスマート工場の実現に向けて、キヤノンはネットワークカメラや産業用カメラなどのイメージング製品、画像処理技術などを結集し、「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」として幅広いシステムソリューションの開発を推進しています。これにより、生産現場を「見える化」し、生産の自動化と生産性向上の支援を目指します。具体的には、さまざまなイメージング製品に加え、画像処理ソフトウェア「Vision Edition」や異常監視・録画ソフトウェア「Monitoring Edition」などを提供することで、その実現を加速させます。

今回の3社での協業開始に伴い、IoT トータルソリューションプロバイダーとして国内で豊富な実績があるNSWのIoTプラットフォーム、ならびに日本ヒューレット・パッカーードが提供する堅牢性・安全性に優れたファクトリーIoT用ハードウエアとして最適化された製品群を、キヤノンが長年培ってきたイメージング技術を用いた製品と連携させます。これにより、効率的かつ安定的な製造データの収集・蓄積に加え、画像を用いた目視確認作業の代替促進や問題発生時の原因究明などが可能となり、生産現場の生産性向上を支援するソリューションの提供が実現します。

具体的には、日本ヒューレット・パッカーード製のエッジコンピューティング向けサーバー「HPE Edgeline」に、「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」製品である画像処理ソフトウェア「Vision Edition」やマイルストーンシステムズ社*のビデオ管理ソフトウェア「XProtect®」をあらかじめインストールした上で、NSWのIoTプラットフォーム「Toami」と連携させ、画像処理による目視作業の自動化や、リアルタイムでの稼働状況の監視を支援するソリューションの販売を2019年4月より国内で開始します。これにより、「Toami」で得たセンサー情報やログデータに、「Vision Edition」で得られる画像処理結果や「XProtect®」に蓄積された録画映像を組み合わせることが可能になります。生産現場の稼働状況の精緻かつ効率的な把握や画像による高度な分析を可能にし、生産現場における作業の自動化や生産性向上の支援を実現します。

キヤノンは今後も、NSWと日本ヒューレット・パッカーードとの協業を通じて、スマート工場の実現に向けて取り組み、生産現場への新たな価値を提案していきます。

※ キヤノングループ会社。本社：デンマーク コペンハーゲン市。

-
- 一般の方のお問い合わせ先：キヤノン株式会社 FA 事業推進部 03-5482-8499（直通）
 - FA 製品ホームページ：<https://global.canon/ja/product/indtech/fa/>
-

■ キヤノンの CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM について

「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」は、キヤノンが提供する、生産現場向けイメージ一括管理システムです。キヤノンが持つ幅広いイメージング製品群、画像処理技術を活用し、生産現場の「見える化」を実現します。

* CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM

<https://global.canon/ja/product/indtech/fa/>

■ NSW の Toami (Powered by ThingWorx*) について

「Toami」は、IoT サービスを開発・構築するための専用プラットフォームです。収集したデータの見える化や機器制御をはじめ、データ分析などが行えます。デバイス管理やデータ管理、外部連携機能などを網羅したノンプログラミング開発基盤により、開発効率の大幅な向上とコスト削減を実現しています。

* IoT プラットフォーム「Toami (トアミ)」

<https://www.m2m-cloud.jp/>

※ ThingWorx (PTC IoT ビジネス) について

PTC の IoT (モノのインターネット) 事業である ThingWorx は、「モノがインターネットに接続されたコネクティッドな環境」において、アプリケーションの開発と実行を効率的に行うプラットフォームテクノロジーを提供しています。PTC の IoT テクノロジーポートフォリオの中心となる ThingWorx は、接続性、デバイスクラウド、ビジネスロジック、ビッグデータ、データ解析、遠隔サービス等のアプリケーションを含む、世界初の完全なインダストリアル・イノベーション・プラットフォームを実現しています。この組み合わせは、企業が安全にアセットを接続し、すばやくアプリケーションを開発し、価値を生み出す新たなアプローチを切り開くことを可能にする、包括的な IoT テクノロジースタックを提供します。このテクノロジーを活用し、製造業、エネルギー、農業、輸送、政府関係機関等の幅広い市場における企業や機関が、すでに IoT の可能性を活かす取り組みを推進しています。

Web サイト: www.thingworx.com, www.ptc.com/ja Twitter: @ThingWorx, @PTC_Japan Facebook: <https://www.facebook.com/PTC.JPN/>

■ 日本ヒューレット・パッカートのエッジサーバー・ゲートウェイについて

HPE インテリジェントゲートウェイシステムおよび HPE コンバージドエッジシステムは、衝撃、振動、極端な温度にも対応できるよう開発されており、エッジにおける迅速で正確な判断を活かしたイノベーションの推進と、ハイブリッド IT 環境のシンプル化によるコントロール性の向上と管理コストの削減を実現し、企業におけるデジタルトランスフォーメーションの推進を強力に支援することが可能な製品です。

<ご参考>

2019年1月16日(水)~18日(金)に、東京ビッグサイトで開催される「スマート工場 EXPO」の NSW ブースにて、本協業の取り組み内容を展示します。